

事業番号	事務事業名	登山道・観光施設等管理事業			所管課名	産業観光課	令和 3 年度課長名	小椋 正己	
04410	政策名	2	地域経済を支える里づくり			係名	産業観光課	担当者・シート作成者	石田 和之
	施策名	25	観光の振興			根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	作州かがみの森林組合へ事業を委託 登山道及び観光施設の安全管理、除草、簡易な修繕を行う。 見積り入札により契約→事業実施→完了→検査→支払	平成23年度まで緊急雇用創出事業で実施していたが、平成25年度より町の最重要課題となり、登山道・観光施設等管理事業として開始する。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 登山道・観光施設	ア 路線・箇所数	箇所	見込 実績	12 12	12 12	12 12	12	12
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 適切な維持管理を行う	ア 整備路線延長(面積)	m	目標 実績 達成率	23,187 23,187 100.0%	23,187 23,187 100.0%	23,187 23,187 100.0%	23,187	23,187
イ	イ 整備面積	m	目標 実績 達成率	7,000 7,000 100.0%	7,000 7,000 100.0%	7,000 7,000 100.0%	7,000	7,000
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 登山道・観光施設整備	ア 作業日数	日	目標 実績 達成率	300 339 113.0%	300 327 109.0%	300 305 101.7%	300	300
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		07		01		03		07		01		事業番号		
	一般会計		商工費		商工費		観光費		07		01		登山道・観光施設等管理事業		
1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	決算 (千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	04410		
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財						その他特財									
一般財源	7,155	5,984	6,435	6,435	451	一般財源	5,936	5,984	6,435	6,435	6,435	451			
合計	7,155	5,984	6,435	6,435	451	合計(A)	5,936	5,984	6,435	6,435	6,435	451			
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1				
	延べ業務事務時間						20	20	20	20	20				
	人件費計(千円)(B)						70	67	67	68	68	0			
	最終予算額		6,435 千円		予算執行率		100.0%		トータルコスト(A+B)		6,006	6,051	6,502	6,503	6,503
主な 支出事業内容 (予算)	委託料				6,435 千円		主な 支出事業内容 (決算)	委託料				6,435 千円			

事業番号	04410	事務事業名	登山道・観光施設等管理事業	所管課名	産業観光課
------	-------	-------	---------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
平成29年度から整備してきた高清水トレイルが平成31年度に完成し、管理すべき観光施設が増えた。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
改善の取り組みはない。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
登山シーズンまでに草刈り等の管理をしてほしい。貴重な山野草に気を付けて草刈りをしてほしい。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 登山者や観光客の集客および施設の景観整備を目的としており、観光の振興と結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 登山者や観光客の集客を目的としており、観光の振興として妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 登山者や観光客を対象としているので適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 適切な時期に適切な管理を行っており、向上の余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 登山道・観光施設は放置すると立入ができないほど荒廃してしまうため、安全性が保てない。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 施設を熟知した業者に管理を委託しているため、改善の余地はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 経常管理に加え、災害時等の軽微な修繕も同事業で行っているため、削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 職員1名で必要最小限の事務を行っているため、削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 観光客全体を対象としているので、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果	② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	登山道・観光施設等の管理を行うことで、施設の景観整備及び安全に利用することができる。委託事業者も登山道・観光施設について熟知しており円滑に整備を行っている。																							
B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 高清水トレイルのように新たな施設が整備された際には、施設の概要や管理すべき箇所などを詳細に伝える必要がある。また、今後費用の負担増が見込まれる。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																								
登山道の維持管理については、自然災害等により、年々費用が増えてきていることもあり、財源を確保する等の必要がある。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																						